



昨年の運動会での「風船とぼし」

バプテスト心身障害児(者)を守る会

愛の手を

第200号

発行責任者
 社会福祉法人 バプテスト心身
 障害児(者)を守る会
 重症心身障害施設 久山療育園
 重症児者医療療育センター
 理事長 宮崎 信義
 編集責任者 中村 晴光
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
 ☎(092)976-2281
 FAX (092)976-2172

「200号発刊を感謝して

理事長 宮崎 信義

1967年12月に機関紙「愛の手を」第1号が発刊され、1995年12月

に第100号記念号が発行されました。その時の巻頭言には、評議員であられた金子純雄先生が「天国からの贈り物」と題して7歳になる前に夭折された脳性小児まひ児について「神様が天国から贈られてきた天使が再び帰天した」という内容でした。その後も年に4回の季刊発行が守られ、今年の7月号で200号となりました。

京・大阪・名古屋・千葉・埼玉・兵庫・福岡)に発令され、4月16日から5月6日にかけて「緊急事態宣言」が全国に拡大されました。当園の感染対策委員会でも、2月28日からボランティア活動中止、3月18日から入園保護者の面会禁止をお願いせざるをえませんでした。私はこのような危機においても、保護者の方々の家族愛とボランティアの方々の方々のマスク献品などの支援や思いやり、活動できないことへの失望感を見聞きして、重症児(者)がまことの「世の光」であることを再確認致しました。

重症心身障害児(者)の多くの方々が、同じように重度重複の障がいを持っておられます。久山療育園重症児者医療療育センターの設立理念に導かれてこれまでの44年間の働きと人々との絆が保たれて参りました。その在り方が、「重症児者と共に」、「重症児者が世の光」、「重症児が社会の片隅に收容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置付けられることを願う」という理念や合言葉が生まれてきました。

その根底にはこの半世紀余り、心身障がい者と共に生きる運動を起こし、1976年に施設建設に導かれた神様の大きな愛と憐れみを覚え「た次第です。導かれて44年間、そして「愛の手を」の発行200号、とても人間の力や業(わざ)ではなし得なかつたと改めて述懐し感謝いたします。

2019年11月に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、パンデミック(世界的流行)となり、3月12日にはWHOが新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミック宣言をなし、日本においても4月7日から「緊急事態宣言」が7都府県(東

そしてこれからも、「理念と展望」で述べますように、主の導きに従って重症児(者)に
 仕え、①QOL(生活の質・生命の質・人生の質)の向上、②命の尊厳を大切にすること、保護者との絆を重視する役割、③地域に開かれた施設として保護者・友の会・地域との連携の担い手であることに立ち続けたいと願います。

理念と展望

「愛の手を200号の発行を感謝して」

理事長 宮崎信義

久山療育園が開園した1976年9月に先駆けて、1967年12月に機関紙「愛の手を」第1号が創刊され、1995年12月に第100号が発行されました。

創立後10周年ごとに記念誌が創刊され、久山療育園の歴史(重症心身障害児(者)のこと、事業活動、コロナー友の会の支援、ご家族との交わりなど)が明記されてきましたが、記録に残っていないことは「愛の手を」が補ってくれました。その後も年に4回の発行が続けられ、支援者や保護者、職員、諸教会などに発信されてきました。

「愛の手を」第1号が創刊される2ヶ月前に、「バプテスト心身障害児(者)を守る会」発足のための第1回会議が開催され、支援する(共に生きる)対象として最重度の障害児である重症心身障害児(者)へと運動の方向性が示されたのだと思います。当時の保育園や幼稚園では、重度の障害児を受け入れてもらえる場は少なかったと伝えられています。福岡地域の方々と教会幼稚園

からの声が上がったことと、創立の中心メンバーの一人だった川野直人牧師の長女のなごみさんが重症心身障害児だったことも運動が推進された要因だと思えます。合わせて1969年11月に「バプテストコロナー友の会」(現・重症心身障害児者と共に生きるミットレーベンネットワーク)が誕生し、「バプテスト心身障害児(者)を守る会」と共に車の両輪として運動を推進して来られました。設立理念にも謳われている通り、これまでの運動と事業は、「キリストの福音を土台」として運営されるもので、特定の個人の力や思いによるものではありません。それでも総括的ではなく、重症児(者)やご家族・支援者・ボランティア・職員一人ひとりが参りました。

設立理念とその再確認

①「設立の目的」「重症心身障害児に愛の手を」から、在宅及び入所重症児者の必要に聴く医療療育計画と実践を継続してきました。また「重症児が社

会の片隅に收容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置付けられることを願う」から、「在宅支援センター」建設に代表される地域に開かれた重症児(者)への医療支援。「久山療育園は単なる收容施設ではなく、新しい福祉社会(福祉共同体)づくりの拠点である」ことから、「在宅支援センター」の働きから福祉共同体の実現、地域医療連携の担い手として。

②「運営基本方針」から、「久山療育園はキリストの福音を土台として」祈りに覚えつつ運営に心がけて参りました。この働きは、重症児者と共に生きるミットレーベンネットワークや諸教会及び保護者会との協働によってセンターの正しい方向が維持されていると確信しています。

③「療育基本方針」から、「久山療育園は、病院であり学校であり家庭である。われわれは対象者を技術論的にではなく、全人的にとらえる。そのため、それぞれ最善の職協力を進めることによって、その専門的領域の働きを全うしなければならぬ」ことを就業規則に定め、センター職員の職業倫理として、「久山療育園の療育」の再確認と医療メインドに基づく生命の尊厳を支える「QOL(生活の質・生命

の質・人生の質)を重視した医療療育を継続・継承していくことを重要だと考えています。

「重症児者と共に」事業と運動の歴史

長くなりますが運動体としての初めと現状を歴史的に再確認致します。

1967年10月バプテスト心身障害児(者)を守る会発足のための第1回会議。1967年12月「愛の手を」第1号発行。1969年11月バプテストコロナー友の会誕生。1975年9月社会福祉法人バプテスト心身障害児(者)を守る会設立認可。1976年9月児童福祉施設設立認可、入園開始(9月27日5名)。1976年10月コロナー友の会の施設訪問ボランティア活動を開始(登録50名)。1978年11月変則4回食制開始。1979年4月北筑前養護学校訪問教育開始(園児29名が就学)。1980年1月歯科診療開始(↓診療科目:内科・小児科・整形外科・歯科)。1980年12月第1回症例研究発表会(現在は2月に「療育体験研究発表会」として継続)。1986年3月全園児に専用の食事訓練椅子を作製。1990年1月通園モデル事業開始;久山療育園も参加(全国で5施設)。1997年度病棟傾斜配置

実施、地域療育部創設(5部制)・重症児者一人一人に合致した医療福祉サービス。在宅支援の要としての通園事業の運営。2001年9月久山療育園創立25周年記念講演、記念出版「重症児者の命の尊厳」刊行。2005年9月西日本新聞全面広告「障害者自立支援法の見直しをー「障害児者を生かすに働かない命」と言わせない世の中に」。2006年10月「療育指導室」(養育部を改組)の発足・生活支援員(指導員・保育士・介護福祉士・療育員等)の役割の再確認と障害福祉サービスの向上、部署運営の規模適正化、「療育」の視点の再認識、個別支援計画の充実。2007年3月西日本新聞意見広告「障害者は生きるに働かないと言わせない世の中に(第2報)」。2008年4月名称変更;「久山療育園重症児者医療療育センター」へ。2008年8月創立30周年記念事業・施設全面改築竣工。2009年度〜2013年度中期5カ年計画、「在宅支援プロジェクト」策定。2012年4月新体系へ移行(入所)「障害児入所施設」(児童)・「療養介護事業所」(成人)。(通所)「児童発達支援事業(就学前)」「放課後等デイサービス(学童)」「生活介護事業」(成人)。2012年4月7床増

床：94床(医療法)、88床(児童福祉法)。2015年7月創立40周年記念事業：「在宅支援センター」及び「重症者ホームひさやま」(グループホーム)事業開始。2017年度社会福祉法一部改定に伴い、理事会(9名)・評議員会(13名)及び法定外に運営協議会の設置。2020年8月電子カルテ稼働。

「療育病院」及び障害福祉施設としての基本的なコンセプト(概念)

「療育病院」としての重症心身障害児(者)施設の役割としては、①「療育病院」…入所(契約入所・措置入所・短期入所)及び通所事業における健康管理・療育(活動やリハビリテーション)・介護・補装具の処方・障害児(者)歯科を実施する。契約入所病床は通常は満床。「チーム医療」から「チーム療育」へ。②「主治医(医学的管理)」…在宅重症児者では専門医療機関(大学病院、こども病院、国立病院機構)で医療に特化した働き医療入院。在宅人工呼吸・在宅酸素療法などは算定している医療機関の指示に従って実施される。重点地域では久山療育園も主治医となる。③「家庭医(かかりつけ医)」…家族と共に近隣の日常健康管理を行うホームドクターとして、感冒や日常的な疾病などのプライマリケアが実施される。

「障害福祉施設」として、①QOL(生活の質・命の質・人生の質)の向上、②命の尊厳を大切にすること、保護者との絆を重視する役割、③地域に開かれた施設として保護者・友の会・地域との連携の担い手であることを継続する。

「愛の手を」発刊200号記念として、センターの立ち位置とこれからの展望について述べました。基本は在宅及び入所重症児者と共に在り、必要に聴く計画と実践に努めることですが、人の思いやまして自負心ではなく、キリストの福音を土台として運営「されていることをいつも思い起こすことが大切です。その先に多職種からなる職協力の研修、自己実現があるのだと思います。

おわりに

以上、「愛の手を」発刊200号記念として、センターの立ち位置とこれからの展望について述べました。基本は在宅及び入所重症児者と共に在り、必要に聴く計画と実践に努めることですが、人の思いやまして自負心ではなく、キリストの福音を土台として運営「されていることをいつも思い起こすことが大切です。その先に多職種からなる職協力の研修、自己実現があるのだと思います。

病気のからだから人の

ひょうたんから駒(セレンディピティ)

センター長/理事 岩 永 知 秋

■セレンディピティとは

今回はピロリ菌の発見物語でしたが、ピロリ菌が培養されたのは採取した胃の組織検体を放置していたおかげ、偶然の出来事からでした。このように偶然から生まれる発見は、セレンディピティと呼ばれます。日本語に適切な語はありませんが、あえて言えば「ひょうたんから駒」でしょうか。偶然の賜物、偶然の産物、嬉しい誤算、思わぬ収穫、柵から牡丹餅(?)などの意味です。「偶察力」とも訳されます。

セレンディップとはセイロン島、いまのスリランカのことで。セイロンは昔から日本でも、紅茶の栽培で有名です。この地の昔話に「スリランカの3人の王子」という話があります。スリランカの王様が3人の息子たちを鍛えるために、旅に出しました。旅先で王子たちはいろいろな困難にぶつかります。そして、思わぬ出来事に遭遇しながら、彼らの持つ知恵と機転によって、もともと探してはいなか

■ペニシリンのセレンディピティ

抗生物質のペニシリンの発見は、セレンディピティの代表としてよく登場します。英国の細菌学者アレキサンダー・フレミングは、ブドウ球菌の培地を夏休みの1か月以上にわたり実験台に放置していたのですが、培地の中に生えた、ペニシリンを作るアオカビが、その周囲のバクテリアの集団(コロニー)を溶かしているのを発見したのです。細菌を強力にやっつける抗生物質は、こうして誕生のきっかけが作られたのです。しかし、フレミングはその観察を

記述しただけでした。さらにペニシリンの精製にたどり着くためには、9年後にこの論文を見つけた化学者たちが、人体に使用できる抗生物質として精製することが必要でした。こうしてフレミングと、ペニシリンの精製に成功した化学者のフローリーとチエインは、1945年のノーベル生理学・医学賞を受賞しました。私が面白いと思うのは、ピロリ菌の培養との共通点、培養標本を「放置していた」という点です。こんな偉人の人たちでも、「ほったらかし」という、いわば雑なところがあつたのです。でもそのほつたらかした材料の変化を見逃さない、その注意深さが偉人の偉人たるゆえんだと思います。また、ペニシリンはアオカビを発見したフレミングが有名ですが、彼はこれに関してそれ以上の研究はしませんでした。ペニシリンが人類を救うくすりとして世に出たのは、9年間も埋もれていた研究を見つけ、それを精製した化学者たちの貢献も発見者と同様に偉大だと思います。

■ナイトロジェン・マスタードのセレンディピティ

白血病や悪性リンパ腫の

治療薬ナイトロジェン・マスタード化合物の発見は、悲劇に基づくものでした。「バリー港の悲劇」と呼ばれます。1943年12月第2次世界大戦中のイタリア、バリー軍港での出来事でした。当時イタリア東部は英国が制圧しており、米国の輸送船にはドイツの毒ガス戦に備えて、極秘裏にマスタードガスという化学兵器を100トン積んで停泊していました。そこにナチス空軍の空襲があり、輸送船が爆破され、マスタードガスが漏れ出しました。空襲そのものよりもこの毒ガスによって多くの死者が出ましたが、その際今まで見たこともない医学的変化が報告されました。それは被害者の血液からほとんどの白血球が破壊され、消失していたのです。血液の成分であるリンパ腫や白血病の研究をしていたローズ大佐、さらにエール大学の2人の薬理学者グッドマンとギルマン博士(私も学生時代この2人の書いた教科書を持っていました。ほとんど読んではいませんが…)はこれに注目しました。白血球は骨髓という骨の中で作られますが、血液がんでは白血球が異常にたくさん作られるのです。この化合物

を工夫して、がん細胞の分裂を抑えることにより増殖を止めればいい。これががんの治療薬として、ナイトロジェン・マスタードなどのアルキル化剤と呼ばれる抗がん剤の発見につながりました。非人道的な化学兵器から抗がん剤が発見されたという、悲劇が生んだセレンディビティでした。

■偶然を見逃さない心の準備

偶然とは言ってもそれまでのたゆまない努力と、そしてさらに重要なのはその偶然を見落とさない心の準備が重要だと考えられます。セレンディビティを起すきっかけは偶然ですが、もともとその研究者の心の準備がなくては見過ごしてしまいます。普通と違う結果や、思わぬ結果が出た時に、それを単なる偶然として捨て去るのではなく、なぜそのような結果が出たのかを考えることが大切だということ。ゲート曰く「我々は知っているものだけを見る」。細菌学の大学者ルイ・パスツール曰く、「観察において、チャンスは準備された心へのみ微笑む」。ノーベル賞受賞者アルベルト・セント・ジェルジの言葉、「発見とは、皆が見てきたものを見て、皆が考えな

かったことを考えることだ」。いずれもとても示唆に富む言葉だと思えます。私を含め凡人は、簡単にその偶然を見逃し、あつという間に忘れてしまいます。偉人の爪の垢を煎じて飲まされても、…やはりだめでしょね。

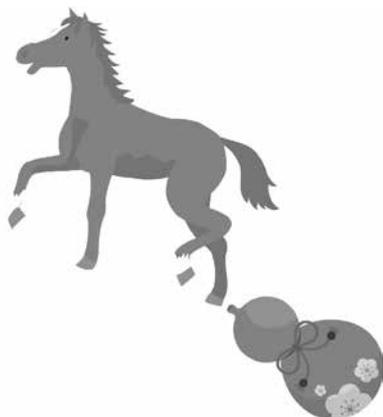
■ステンレスのセレンディビティ

医学以外にも当然数多くのセレンディビティがあります。たとえば、ステンレス鋼は「錆びない鉄」として偶然に発見されました。英国のハリー・ブレアリーは1912年、製鉄会社で火器の爆発に耐える金属を研究していました。彼は20%のクロムを加えた鋼鉄を試作しましたが、加工性が悪いため、そのままこの合金を放置していました。これまた「放置」ですね。しかしその数か月後にこの金属が全く錆びていないことに気づきました。実は、表面に薄い酸化した膜はできたのですが、この膜がその奥に錆び(酸化)が進むのを妨げていたのです。これから実験を繰り返し、現在のステンレス鋼が作成されました。

■プラスチックのセレンディビティ

プラスチック化合物が人工的に最初に作られたのも偶然でした。1845年スイスの化学者クリスチャン・シェーンバインは、奥さんに自宅では禁止されている実験をこっそり行っていました。自宅に持ち帰ってまで実験するなんて、なんて熱心な人でしょう。彼は実験中に硝酸と硫酸を床にこぼしたので、あわててエプロンで床を拭き、ストープの上で乾かそうとしました。その瞬間、エプロンは一瞬でぱつと燃え上がりました。

なぜでしょうか。エプロンの成分であるセルロースと硝酸、硫酸が化合して、ニトロセルロースができたのです。このプラスチックは可燃性が高く、熱で燃え上がったのでした。その後、ニトロセルロースに20%程度の樟脳を混ぜると硬くなることがわかり、製法を改良した結果、1856年ジョン・ハイアットがセルロイドとして売り出しました。これが世界で初めての、プラスチック第1号となりました。





藤田 英彦

「見えないものに目を注ぐ。」
 「わたしは、見えるものではなく、見えないものを目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くのである。」(コリント人への第二の手紙4章18節)

『愛の手を』200号の発刊おめでとございます。

前号の、折からの全世界に広がるコロナウイルス菌の蔓延に対し、「緊急事態宣言」が発令され、特に医療機関などのクラスター発症の恐れを案じておりましたが、巻頭の岩永センター長の単なるご挨拶でない「新年度に当たり」の希望に満ちた言葉や、宮崎理事長の変わらぬ堅実な「久山療育園の歴史」と中期将来計画を讀んで嬉しくなると共に、日本キリスト教協議会(NCC)の招きで来日され、北九州NPO法人「抱撲」共に久山療育園の活動を見学に来られたドイツ福音主義教会幹事長の

マルティン・クリークさんが、久山療育園の通所第2療育室への渡り廊下にある『MIT・LEBEN』を見て『ミットレーベン』は『共に生きる』という他に『生命と共に』という意味もある。と言われた。という記事を見て更に嬉しくなりました。

昨年暮に中国の武漢あたりで発症したコロナウイルス菌による感冒感染者は、今年に入り全世界の急速な勢いで蔓延し、国内では6月3日現在約1万7千人、全世界で約638万6千人という恐ろしい数字が毎日毎日伝えられています。筆者の住む北九州市は、26日間感染者0の状況が一転して、この12日間だけで124人、しかも、病院従事者と患者、小・中学校の児童、生徒、教師の間起こったクラスターが主で、市長も「第2波の真つただ中にいると認識している」と叫んでいます。

この見えないうちに侵され、見えないかたちで広がっている「悪霊」のようなしつこいコロナウイルスに、私たちは如何対応すればよいでしょうか。しかし聖書で、使徒パウロは「もしわたしたちの福音がお

おわれているなら、滅びる者どもにとっておかれているのである」(IIコリント4:3)「もしわたしたちの福音(神は愛である)(Iヨハネ3:16)と宣言する聖書は、世界のかけがえのない一人ひとりの人間の「命の尊厳」を大切にすることを語っています。そしてそれを奪おうとする目に見えない悪の力に対抗するために、

「わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、いよ増し加わり」(ピリピ1:9)、見えないコロナウイルス菌による被害に只替えるだけでなく、目を覚まして冷静に取り組むことが大切です。パウロはIコリント13:13で「このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大なるものは愛である」と言い切ります。信仰も希望も愛も、直接には見えないものです。

2003年に発行された久山療育園の「ひびきあういのち」(新教出版社)第8章「久山」の理念と理念史に、金子純雄・安藤榮二両氏が「ミットレーベン(共に生きる)」に寄せて」と題

して次のように記しています。『21世紀について、私たちは必ずしも明確な展望を描き出せないでいる。むしろ、政治的、経済的には混乱の度加わるかもしれない。しかし、私たちは失望しない。なぜなら「見えるもの」ではなく、見えないものには一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。(IIコリント4:18)ことを信じているからである。私たちは、久山設立に当たって、創立の精神、または理念としてこの聖句を掲げた。私たちが目を凝らして見えないものを見ようとすると、イエスの眼差しが向けられる方向を見、イエスが歩まれるところに共に立とうとする限り、私たちは人間としての愛や優しさを学び、試行錯誤を恐れず、「共に生きる」人として歩み続けることが出来るであろう。その意味で、私たちは「神の国」の望みに生きることが許されているのである」(197ページ)



2019年度決算

2020年6月5日第1回理事会承認
2020年6月25日第1回評議員会承認

(自) 2019年4月1日(至) 2020年3月31日 単位: 円

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)		
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	6,313,000	5,611,202	701,798	
		障害福祉サービス等事業収入	517,178,000	504,646,237	12,531,763	
		医療事業収入	779,100,000	789,214,110	△ 10,114,110	
		経常経費寄附金収入	20,510,000	21,768,190	△ 1,258,190	
		受取利息配当金収入	2,221,000	3,088,589	△ 867,589	
		その他の収入	6,608,000	7,143,672	△ 535,672	
	事業活動収入計 (1)		1,331,930,000	1,331,472,000	458,000	
	支出	人件費支出	1,052,077,000	1,014,544,389	37,532,611	
		事業費支出	156,376,000	159,605,120	△ 3,229,120	
		事務費支出	100,004,000	99,563,643	440,357	
事業活動支出計 (2)		1,308,457,000	1,273,713,152	34,743,848		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		23,473,000	57,758,848	△ 34,285,848		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	3,500,000		3,500,000	
		施設整備等収入計 (4)		3,500,000	0	3,500,000
	支出	固定資産取得支出	22,973,000	28,381,433	△ 5,408,433	
		施設整備等支出計 (5)		22,973,000	28,381,433	△ 5,408,433
		施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 19,473,000	△ 28,381,433	8,908,433
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000	
		その他の活動による収入		72,481	△ 72,481	
		その他の活動収入計 (7)		10,000,000	11,072,481	△ 1,072,481
	支出	長期貸付金支出		105,000	△ 105,000	
		積立資産支出		8,786,104	△ 8,786,104	
		その他の活動による支出		2,493,967	△ 2,493,967	
		その他の活動支出計 (8)		0	11,385,071	△ 11,385,071
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		10,000,000	△ 312,590	10,312,590	
予備費支出 (10)			—			
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		14,000,000	29,064,825	△ 15,064,825		
前期末支払資金残高 (12)		398,068,717	398,068,717	0		
当期末支払資金残高 (11)+(12)		412,068,717	427,133,542	△ 15,064,825		

決算概要

社会面では2019年10月より消費増税(8%→10%)が実施され、事務費、事業費に於ける業務委託、保守料及び消耗備品等単価増の要因となった。人的には直接看護、介護者の中途退職、産休・育休等に対する人材確保が困難な期間が続いたが、配置基準は確保することができた。

中長期的な事業継続推進の為、「社会福祉充実計画」に基づき、園内システム全般の更改、電子カルテシステムの導入準備を行い、2020年度稼働へ繋ぐ年となった。全体の資金収入は、対計画比100%、支出は人件費、事業費、事務費に於いて対計画比97%となり予算内で推移した。

結果、当期資金収支差額は、対計画比1,400万円であったが、決算額2,900万円となり1,500万円の増となった。

損益から見た事業活動全体収益では、前年度対比100%、全体費用は減価償却費等も加えて前年度対比99%となった。

[収入] 対計画比 100%

障害福祉サービス等収入に於いて、対計画費では、入所在籍日数増により300万円増となったが、短期入所、通所、相談支援、重症者ホーム共に稼働減の1,500万円減で全体としては約1,200万円減となった。医療事業収入での入所に関しては、在園日数及び診療実績増により1,400万円増となった。他方外来では、稼働日数、診療内容で400万円減となり、全体収入では約1,000万円増であった。

また、医療備品購入に対する補助金申請350万円は今年度は却下となった。

[支出] 対計画比 97%

対計画費の主たるマイナス要因は、人員配置のずれ等による人件費3,700万円減である。事業費は消耗器具備品費(電子カルテ用PCカート他)、医薬品実績増等により300万円増となった。固定資産取得支出に関しては、福祉請求システム、次期医療介護システムに関する支出により約500万円増となった。尚、電子カルテを主とする園内システム全般の更改支出1,100万円は、今年度計画の「社会福祉充実計画」に基づく支出である。

特別寄稿

200号発行に寄せて

横浜市在住 元看護部長
壽福 ムツ子

「久山療育園の開設と同時に刊行が始まった『愛の手を』200号、感無量の思いです。退職後も毎回送っていただき、隅々まで拝読しています。開設当初から在園している皆さんの元気そうな写真を見ただしでは懐かしく、当時を思い出しています。

生まれいずる悩み…ご依頼を頂いたとき、久山のあゆみを細かく書いたら一冊の本になりそうな気がしました。思いつくままに書いてみようと思います。

「久山療育園に来てくれませんか、ナースが見つからないのよね」宮本先生(箱崎パプテスト教会牧師)から声をかけられました。

子育て真っ最中で、通勤には車で1時間以上かかるとあっては、全く不可能な話でした。神様のお導きだったのでしょう。か定礎式・献堂式に招かれ、1976年8月から出勤し始めました。だだっ広い空っぽの部屋(今のめぐみ棟)で小山看護部長と入園受

け入れの準備をしました。

二人とも重症児の看護とは縁のない職歴です。小山看護部長と初めてお会いした時、ピシッと真っ白なワンピースのユニホームと黒線入りのナースキャップ！圧倒されました。京都バプテスト看護学校の教務主任、外国帰りで英語ペラペラとあって、最も目立つ存在でした。久山の歴史を作った大ボスです。誰からも好かれる気さくで魅力的な看護部長です。

開設までに集まった現場スタッフは指導員2名、看護師2名、准看護師1名、看護助手数名だけです。これで24時間の完全看護？気の遠くなる現実でした。

ミットレーベン…9月末からいよいよ入園受け入れ開始です。最初に入園したS君と顔を合わせた時、よし何とか頑張ろう！と思いがけない力を感じたのは私だけではありません。

せん。深夜勤務は准看護師、夜勤の出来ない私は日勤業務、看護部長は昼間に看護部長業務、夜は準夜勤務というハードなものでみんな必死でした。

初代園長は、九州大学総長も務められた高名な小児科医の遠城寺先生です。「自分は小児科医として尽力してきたが、どうしても救えなかった重症児に心から申し訳なく思っている。これからの人生を重症心身障害児者のために尽くしたい」と熱い思いを話されました。

入園受け入れのための児童相談所めぐり(面接)がありまして。ご高齢にもかかわらず遠城寺先生もライトバンに乗ってあちこちご一緒しました。Sちゃんの高齢のお母さんが今までの苦勞を淡々と話されたのを聞いた遠城寺先生はしんみりと「本当に大変だったね、これからは大丈夫だから安心してください」と言葉

をかけられました。私たちの責任の重さをひしひしと感じさせられることばでした。少しずつ増えていく入園者のひとりひとりに、やさしく手を差し伸べ、笑顔で話しかけて下さいます。スタッフの輪の

中に入り、分け隔てなく接してくださいました。遠城寺先生は間もなく「明日から来られなくなつた。ごめんね、頑張つてね、こどもたちをよろしく」とのお言葉を残して寂しそうにお帰りになりました。久山はどうなるの？不安がつるばかりです。牧師先生達の夢と医療現実のはざままで苦悩された先生を見送りました。

苦難を乗り越えて…定員50名の生活棟が手狭になるにつれてスタッフも少しずつ整って来ました。重症児者との出会いはほとんど初めての人達ですが、久山の看護にすんなりと溶け込んでいったように思います。看護の基本を忠実に守りましょう、というのが基本方針でした。それは今も守られているのでは？と想像しています。

入園したこどもたち…N君は体が大きく緊張の強いハンサム青年です。時折とても大きな声で泣き叫びます。どこかどうあるの？大きな虫歯が原因かも？と近くの歯科医院を受診しました。「とても手に負えません」とあつさり断られました。自分たちで守るしかない！と全員の口腔ケアを始めました。小児歯

科医院で歯ブラシを紹介してもらい誤嚥不安の中、ウオーターピックで口の中の残渣物をきれいに洗い流します。大変な労力ですがスタッフみんな頑張りました。誤嚥は一度もなかったと思います。口の中は見違えるようにきれいになり口臭もなくなりました。その後緒方小児歯科から歯科治療に来てもらえるようになり、数年後には虫歯ゼロ100%という快挙を遂げました。多田園長が就任され、食事訓練・機能訓練に力を入れるようになり、ヴォイター法の取り組み、2(4)回食や全員の矯正椅子作成もそのころからです。

超重度障害児の受け入れ…Mちゃんは巨大水頭症の4歳の可愛い男の子です。F大病院から久山にお願いしたいとの連絡が入りました。当時養育部長の鎌田先生とF大病院に向きましました。広い病室に感染防止のために一人ポツンと隔離され、看護主任さんが必死に命を守っておられました。Mちゃんの主治医は久山にお願いできればここで、多くの命を救えるんだが、との話でした。果たして今の久山の体制でこの命を守ることが出来るだろうか？とても不安でした。当時久留米から来ておられ

た山本先生は、万が一命を守れなかったとしても、一人ぼっちで閉鎖病棟で長く生き長らえるより、一日でもこの開かれた施設で友達と暮らした方がMちゃんにとつては幸せではないか、との発言で受け入れが決まりました。白い肌、100センチあまりの頭位に細い首のMちゃんは、特製の椅子を作ってもらい、泣いたりいい顔を見せたり少しだけ口から食べたり、ドクターやボランティアさんから優しく声をかけられ、かわいい帽子も作ってもらいました。みんなと一緒に保育、訪問養護学校の教育も受け、10年余り後に、私たちに大きな生きた証し、多くの教訓を残して天国に旅立ちました。

めぐみ棟・ひかり棟・2階が増設され80名の定員になり、讚美歌『恵みの光は』から小山看護部長が命名しました。通園部門も誕生し大きな施設になりました。

冠たる重症児施設として…多田園長のあと、優しい藤井園長に替わり、まもなく国立病院の名誉院長の城崎先生が

城崎先生は私の看護学校時代の整形外科のDrで、先輩ナースからは剃刀の城崎と恐れられていた先生です。顔を合わせると前からビビッてしまいました。園長先生ではとても優しい診療部長が就任され、子供たちとの生活の不安はなくなりました。組織が大きくなるにつれて、ますますいろんな軋轢も多々出て来ます。城崎園長は、「君たちの悩みは、ドクターが定着すれば解決すると思っただけどそうはいかなかったね」とつぶやかれました。私たちはひたすら子供たちの幸せな毎日の生活を目指して育んで行くばかりです。全国施設長会議に出席された城崎園長が「久山療育園は日本で冠たる重症児施設ですと言われたよ」ということは世界でも冠たるものだよ」とおっしゃいました。本当に報われたと思います。開設当時不安がいつぱいだった家族の皆様から、久山に入園して本当によかったと喜んでいただくようになりました。

ながら、去って行かれる皆様は後ろ髪を引かれる思いでの退職でした。久山の土を踏んで19年、看護部長を4年務めた私は当時の伊藤園長とともに久山を去りました。オキシトシン(出産期、胎児期、授乳期を通して母子を支える愛情ホルモンとも言うべきホルモン)…入来先生は小児医療のエキスパートです。オキシトシンの話もそうです。私たちが障害児者のみなさんからやさしい気持ち、心をたくさん貰っているのです。体験したことのないコロナ禍から命を守る使命の中で、皆様のご苦労は如何ばかりかと思いを馳せています。新生讚美歌495番『主よみ手もてひかせたまえ、ただわが主の道をあゆまん。いかに暗くけわしくともみむねならばわれいとわじ』いつも脳裏に浮かぶ一節です。ネットで久山療育園の組織表を見つけました。43年のあゆみに驚きと感動を覚えました。障害児者の皆様、それに関わるすべての皆様の大きな愛とご多幸を心からお祈りいたします。

メモ帳

- 【4月】▽1、2日 新入職員オリエンテーション▽3日 臨時感染対策委員会▽10日 イースター行事▽13日 臨時感染対策委員会▽20日 臨時感染対策委員会▽24日 誕生会
- 【5月】
- ▽11日 臨時感染対策委員会▽13、14日 会計事務所決算監査▽20日 臨時感染対策委員会▽22日 誕生会
- 【6月】▽3日 福岡特別支援学校入学式▽5日 第1回理事會▽8日 臨時感染対策委員会▽10日 保護者役員會との懇談會▽19日 誕生會

職員の異動

(2020/4/1~6/30)

【採用】

- ▽大久保敬弘(看護師) 4/1付
- ▽佐藤 瑠奈(看護師) 4/1付
- ▽猿渡 美緒(看護師) 4/1付
- ▽城島 洋子(看護師) 4/1付
- ▽永松 大河(介護福祉士) 4/1付
- ▽川邊以都美(介護福祉士) 4/1付
- ▽中城 夏美(介護福祉士) 4/1付
- ▽福島 有紀(療育員) 4/1付
- ▽正岡亜耶子(療育員) 4/1付
- ▽下川百合子(療育員) 4/15付
- ▽富田 裕規(介護福祉士) 5/11付
- ▽山本喜久子(事務員) 5/18付

【退職】

- ▽菊池 好子(療育員) 4/30付
- ▽添田 次郎(事務員) 6/30付

ご協力ありがとうございました

(2020年3月1日～5月31日) 敬称略

【法人】

一般献金

安部咲子、阿部直子、飯田節子、石垣幸枝、いのちの冠福岡教会、友学園女子中等高等学校奉仕委員会、大谷緑、大牟田フレンドシップキリスト教会、(学)西南女学院、(学)福岡女学院、(株)ロジテム九州、栗ヶ沢バプテスト教会、栗田昌直、恵泉バプテスト教会、公益財団法人福岡YWCA、高知伊勢崎キリスト教会、西南学院バプテスト教会兄弟会、手作品売上げ、東洋英和女学院中高部宗教学委員会、匿名、土地家屋調査士法人エビス、日本バプテスト連盟久留米キリスト教会、日本バプテスト連盟百合丘キリスト教会、福岡アルミ工業(株)、豊前キリスト教会、防府バプテスト教会、室蘭バプテストキリスト教会、山口正夫、嘉久明子、若松バプテスト教会

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、井手伸昌、匿名、鳴戸健太郎、久山療育園献金箱(以上100,364円)

【施設】

一般献金

KOBAYASHISHOHEI、大場奈緒子、大原あい子、関東学院

のびのびのぼ園、(宗)日本バプテスト篠崎キリスト教会、仙川キリスト教会、高松常磐町キリスト教会(以上169,361円)

献品

上尾キリスト教会女性会(タオル他)、安部田欽也(はがき)、荒金幸(手作り髪止め他)、案浦紀伎子(切手)、入山秀美(はがき)、梅田淳子(切手他)、お針の会関祐子(布雑巾)、(株)サニクリー九州(マスク)、コストコ(マスク)、児湯キリスト教会女性会(日用品)、佐伯たまみ(マスク)、堺麗子(スポンジブラシ)、佐賀銀行大橋創和寮(マスク)、鮫島隆之(はがき)、末田初恵(マスク他)、高瀬孝介(靴下)、田中由美(はがき)、富田愛三郎・治子(マスク)、鳴戸陽介(ブランケット)、日本基督教団自由が丘教会女性会(おしぼり他)、林香代美(マスク)、久山療育園親交会(電子レンジ)、福岡友の会岩永友里(マスクカバー)、防府バプテスト教会(タオル)、松尾国利(マスク)、松尾幸江(マスク)、矢野和美(マスク)、山口久美・英明(はがき)、山本俊次(マスク)、吉川道雄・三恵子(マスク)(以上12,092円)

【ミットレーベン・ネットワーク】

2019年度献金分(以上1,710,737円)

次期システム構築に関わって(これまでのご報告)

当センターでは2008年度、職員にシステムエンジニアを採用し、園内の情報・共有・データ管理・教育等を行い、パソコンを利用した基幹システムを導入し、運用してまいりました。

2016年度より現行システムの仕様を継続しつつ、業務の効率化・生産性向上を図るため外部アドバイザーを招き、情報管理担当者を中心に2020年度の稼働を目標として次期システム構築の準備を進めてきました。

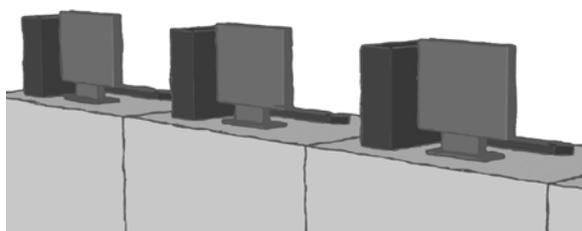
今回の次期システムでは医療系の電子カルテを中心に事務系システムも同時に構築を行っております。

昨年度から医療系・事務系のプロジェクトを立ち上げ、業者との打ち合わせを繰り返しながら、今年3月には事務系システムの稼働を開始することができました。

4月に入り、新型コロナウイルスの影響により、医療系システムで進めている電子カルテ導入業者との打ち合わせが中断を余儀なくりましたが、5月下旬より制限付きながらも業者との打ち合わせが可能となり、8月稼働に向けての打ち合わせを再開し急ピッチで準備を進めているところでです。

今後、操作方法の研修・様々なシミュレーションを重ねながらスムーズに稼働できるよう努力していきたいと思っております。

(事務部医事主任・情報管理 波田 良)



めぐみ棟より

イースター

4月10日にイースターのお祝いを行いました。今年には新人9名で森山直太郎の「さくら」をトーンチャイムで演奏しイースターを盛り上げました。コロナの影響で、自粛期間中の沈んだ気持ちを吹き飛ばせるよう各々が変装して少しでも明るさを届けられるようにしました。なかなか揃っての練習はできませんでしたが、精一杯息を合わせて楽しく終えることができました。毎年恒例の卵探しも、可愛く変装した動物たちと一緒にご利用者にも楽しんでいただけたのではないかと思います。今後の生活もご利用者と共に楽しんでいきたいです。

(介護福祉士 塩井貴文)



コミュニケーション サークル活動(女性チーム)

月に1回、めぐみ棟の女性3名でコミュニケーションサークルを行っています。さまざまな感覚体験を主として活動を行い、毎回歌や楽器を取り入れていきます。ピアノや太鼓だけでなく、日常ではあまりなじみの無い楽器も使用し、たくさん音や振動などを体験する中で、自分が好きな楽器をみつけたり、他者から聞こえる音に注目して聴いたり楽しんでいきます。また、季節にあった歌と一緒に歌ったり、暑い日は水や氷を使ったりと季節を感じる活動も行っています。さまざまな感覚体験を通して、好きな感覚刺激を楽しく探し、いろいろな反応を引き出せるよう、今後も活動提供を行っていきます。

(言語聴覚士 坂元由美)



コミュニケーション サークル活動(男性チーム)

めぐみ棟男性3名もまた、月に1回コミュニケーションサークルを行っています。上肢活動を主に活動を実施しています。名前呼びの際にはスイッチを押してもらって元気の確認をしています。また季節に合った活動を行っており、4月からは春の草や花を探しに園庭へ行き、その草や花で押し花を作り写真を撮って作成しました。その際には様々な感触やにおい、感覚を楽しむことができ笑顔も多くみられることができました。それぞれの力が発揮でき、達成感を得られるよう今後も活動提供を行っていきます。

(作業療法士 阿南真弥)



通所で頑張っています

そっだ、手紙を贈ろう!!

通所では、ご家族へお手紙を贈る療育活動に取り組みました。感染症拡大の影響で以前まで出来ていた外出や面会が厳しくなったこの頃。そんな時だからこそお手紙というツールを通して利用者さんの元気な様子がご家族に伝われば・・・と思い、切手を貼って郵送をしました。お手紙の作成に取り組んでいる時間では、穏やかに黙々と書く様子や、時にはご家族のことを思い笑みがこぼれる様子が随所に見られました。利用者さんの想いのこもったお手紙が無事にご家族に届くことを願いつつ、この機会を今後の療育活動のアイデアに繋げていきたいと思えます。

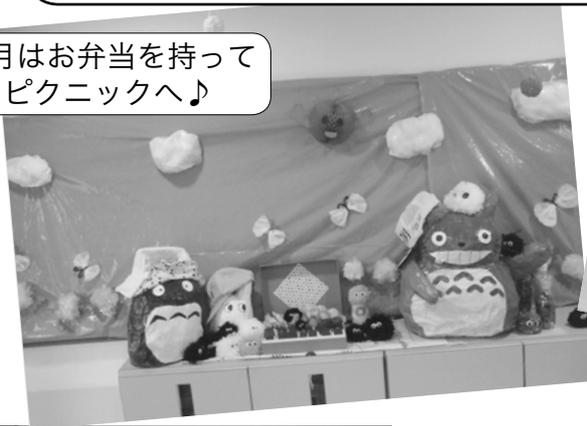
(通所介護福祉士 松元りか)



通所の装飾

通所では年間を通して玄関や廊下、渡り廊下の装飾を変えています♪ 玄関前ではトトロたちが皆さんをお出迎えしています。季節を通して、様々なトトロたちが見られるかも!? ぜひ見に来てくださいね☆☆☆

5月はお弁当を持ってピクニックへ♪



美味しそうなお弁当を持ってどこへいくのかな?



オラフもつまみ食い!



6月は梅雨の季節… 葉っぱの傘を持ってお散歩です

重症者ホームひさやまより

ホームのラーメンパーティ

4月18日のお昼時、ホームはなんだかいつもとは違う雰囲気…

この日のホームはなんと！ラーメン屋さんに変身しました♪

外出や面会がなかなか出来ない中ですが、少しでもステイホームを楽しんでいただこうと、ホーム内食行事として、ラーメンパーティーを企画しました。

ホーム内をラーメン屋さん風に飾り付け、スタッフも白タオルにTシャツというラーメン屋さんの店員スタイルになりました。

スープや具材も本格派を意識して複数種類を準備しました。醤油や味噌、豚骨といった美味しそうなスープの香りの中で、入居者さんは思わず笑顔に。自分は食べ終わったにも関わらず、他の入居者さんに運ばれていくどんぶりをみて「おかわり！」と挙手する方も(笑)餃子や唐揚げも皆さんペロリと食べてしまいました。そして、デザートは別腹♪

久山療育園ではすっかりお馴染み Tana さんのケーキと、スナック菓子もあつという間に食べてしまいました。色々な種類のケーキを準備すると、「イチゴがいい!」「可愛いのがいい!」など、それぞれの好みが見えてきました。笑顔でラーメンを食べる入居者さんを見て、スタッフの気持ちもラーメンのスープのようにほっこり温かくなりました♪

(重症者ホームひさやま 生活支援員 濱田彩子)



43年のあしあと

運営協議会委員／元地域療育部長
窪田次男



久山療育園 在宅支援の歴史②

久山療育園での在宅支援 (その2)

念願の重症児者通園始まる

1990年1月、全国5ヶ所の重症児施設で重症児者通園モデル事業が始まりました。養護学校(当時)卒業後の生き場所がないという、全国の保護者や関係者の働きかけに、そのころの厚生省(当時)は「通園ができるなら重症児ではない」という反応でした。しかし横浜市の「朋」をはじめ、重症児者通園の先駆けとなる事業所が現われ、厚生省はようやく重い腰をあげてモデル事業としてスタートさせたのでした。

久山療育園では新しく通園棟が増築しました(全国で久山のみのみ)。4月の落成献堂式で川野直人初代理事長が「新しい酒は新しい革袋へ」と題して挨拶をしました。「いまや福祉の輪は、施設中心から地域へ、家庭へ、更には人から人へと広がります」。重症児者に

とってそれは新しい時代の幕開けでした。

この事業の利用定員は1日15人(A型)でした。3年後に国は定員5人(B型)の通園をモデル事業として全国5ヶ所に指定しました。

現場スタッフの苦悩

確かに、重症児者にとって、新しい歩みが始まったのです。モデル事業とは、その事業が有効に運営できるのかを検証するものであり、各施設はそれぞれの課題をもってスタートしました。久山療育園では開始間近になって、「医療の中の通園」という方針が示されました。リハビリが最優先され、その効果がより大きく期待できる若年層を対象に限られたのです。通園対象を18歳未満とし、リハビリに付き添うため保護者同伴とされました。

このことは現場スタッフを悩ませました。通園事業実現のために大きな力となった18歳以上の方が対象にならなかったのです。家族の落胆は大きかった、しかしお母さん達は表情では通園事業が実現

したことを喜んで下さいました。

重症児者通園モデル事業は、養護学校卒業後、通うところがないための対策であったはずです。それは高等部卒業後に、学校と同じように単独で通園できることを意味していました。そのために保護者や関係者は必死に運動をされてきたのです。

その後、通学学齢児は対象にならなくなり、2006年度の年齢構成は最高年齢58歳、最低年齢3歳、平均年齢24.7歳となりました。

年齢制限の解除

何とかしたいと思いながら現場スタッフでは困難なことでした。しかし、通園形態は少しずつ本来の形へ近づいていきました。年度末になって、年齢制限については18歳になったからと断ることができずそのまま残留ということになったのです。ついに1995年度に年齢制限を解除しました。

その後、通学学齢児は対象にならなくなり、2006年度の年齢構成は最高年齢58歳、最低年齢3歳、平均年齢24.7歳となりました。

単独通園の実現

通園では、家庭から離れた場所では家族とは違う方の介助で新しい体験をしてほしい、それが現場スタッフの思いでした。また通園をしている間は、お母さんには自分の時間として自由にしてほしい、24

表1 年齢構成 (1996/3/31)

年齢	男	女	合計
6歳未満	11	7	18
6~10歳	9	7	16
11~15歳	4	6	10
16~20歳	4	7	11
21歳以上	1	5	6
合計	29	32	61

表2 年齢構成 (2006/4/1)

年齢	男	女	合計
6歳未満	2	3	5
6~10歳	0	0	0
11~15歳	1	0	1
16~20歳	4	5	9
21~30歳	10	13	23
31~40歳	1	3	4
41歳以上	2	4	6
合計	20	28	48

表4 プログラム (2006年度)

8:00	朝礼、打ち合わせ
	通園バス迎え
10:00	登園、健康チェック、おむつ交換
10:20	朝の会
10:30	療育活動、個別指導、保育(幼児)
11:30	おむつ交換、食事準備
12:00	食事指導、休憩、おむつ交換
13:00	(機能訓練へ)
14:00	小活動
14:30	帰りの会
15:00	降園、通園バス送り
	記録、片付け
16:45	反省会

(資料：30周年記念誌)

表3 プログラム (1996年度)

8:00	朝礼、打ち合わせ
	通園バス迎え
10:20	朝の会
10:30	機能訓練(A班)、保育(B班)
11:30	食事指導
13:00	機能訓練(B班)、保育(A班)
14:00	お別れの会
	通園バス送り

(資料：20周年記念誌)

時間介護をしておられるので
すから。

単独通園への方向転換は思
わぬところからの外力でし
た。1998年8月、厚生
省の意向を含めて県から口頭
指導がありました。その中に
「利用人数の確保」があったの
です。年度末までに利用人数
15人/日を確保できない場合
はB型に格下げするというの
です。A型を守りたい、現場
スタッフは保護者の協力も得
て、出来ることからとりかか
ろうと知恵をしぼり必死に
なりました。訓練のない受け
入れ、単独通園、送迎の工夫
業務の効率化、利用回数が増
加、新規の利用者増員に努め
たのです。

(続く)

久山療育園開園祭 (バザー、交流イベント、健康フェア等) 中止のお知らせ

毎年恒例の開園祭、中止のお知らせ
です。今年は9月22日に「第44回開園祭」
を予定していましたが、大勢の方が
集まることによりコロナウイルス感染
の拡大が懸念されるため開催が難しく
なり、施設利用者の皆様のご健康を考
慮し中止することと致しました。楽し
みにしてくださった皆様には誠に申し
訳ありませんが、何卒ご理解の程お願
い申し上げますとともに、次年度の開
園祭でお会いできますことを心より楽
しみに致しております。

(なお、平素のお支えへの感謝をささ
げるため、ボランティア・勤続職員表
彰をかねた礼拝を9月23日(水)に予
定しておりますので対象の方にはご案
内を差し上げます。よろしくお願ひ致
します)

パプテスト心身障害児(者)を守る会
理事 長 宮崎 信義
久山療育園重症児者医療療育センター
センター長 岩永 知秋

創立51周年に向かって

ミットレーベン・ネットワーク
会長 伊原幹治

新型コロナウイルスの流行によって、4月以降の街頭募金は中止しています。また、それに伴い、定期総会、及び、夏のワークキャンプが中止になったことを、お知らせしなければなりません。総会の内容に関しましては、皆さまには改めて「壁新聞」でご報告いたしますので、そちらで前年度の活動報告、新年度の活動計画などをご確認ください。

また、例年、8月中旬に久山療育園で2泊3日で行っているワークキャンプも、残念ながら中止を決定いたしました。中止は「O-157」の流行に続いて2度目となりますが、重症児者施設での開催であり、こういう状況ではやむを得ません。楽しみにしてくださっている皆様には、大変残念で、申し訳なく思っています。また、これら以外についても、コロナ・ウイルスの流行状況などを見計らいながら、計画を進めて行くこととなります。よろしくお願ひします。

(会長 伊原幹治)

ボランティアだよ

ボランティアの方の力に あらためて感謝です

新型コロナウイルスのため、久山療育園内でのボランティア活動をみあわせていましたが、ボランティアの方々から温かいお声掛けもあり、今までとは違った形でのボランティア作業をしていただきました。

利用者のベッド内での環境を整えるため、掛け布団を収納するための大きなバック。季節を感じる環境設定のためのモビールや活動に使うものの絵や切り抜き。作業のお願いをするとすぐに作っていただき、とても素敵な作品が出来上がってきました。

制限のある生活の中で暮らしている利用者にとって、園の中の環境が楽しく、快適になるように作っていただいた作品は大切に使用させていただきます。利用者、職員共々感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。また笑顔でお会いできる日を楽しみにしております。

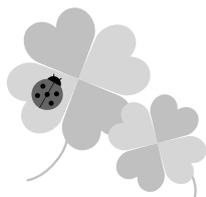
(ボランティア委員会 古賀クミ)



てるてるぼうずとしずく



掛布団も収納できるバックを作って頂きました。ありがとうございます。



歩 行 器

2019年11月、新型コロナウイルス感染が中国武漢市を中心に発生し、日本でも2020年1月28日に「指定感染症」と閣議決定されました。当園でも2月に臨時感染対策委員会を開催し、標準予防策の徹底を図り、マスク着用、手洗いの徹底、ボランティア活動中止、保護者の面会禁止と続けてきました。その間、多くの方からマスクの献品等様々なご支援と祈りを受け、7月13日現在、園内から感染者が出ていないことを心より感謝しています。

一方では季節が変わり梅雨を経て、台風の時季となりました。毎年九州では集中豪雨が発生し多くの人命が失われ、4年前の熊本地震では甚大な被害を受けています。2年前の北海道胆振東部地震では道内全域で停電(ブラックアウト)が発生し、日常の電気製品、機器に依存した生活が一変し、医療施設では医療機器の使用ができなくなりました。障害者の方々、特に呼吸器使用の方々には命の危機に直面したといわれています。

当園ではコロナ感染防止対策のほか、従来から風水害に対する危機管理も行っており、水と電気の確保には注意を払っています。しかしな

から自家発電機の燃料は4時間分しかなく長時間にわたる停電には十分ではありません。今後燃料備蓄の増加を積極的に図っていきたくと考えています。

今号は記念すべき「愛の手を」200号となっています。25年前の100号の「歩行器」では次のように記されています。「『愛の手を』の源流となった第一号の編集後記から当手を振り返ってみたいと思います。・誌名『愛の手を』は機関誌のネーミングとして抜群であります。特に『愛の手』だけにとどまらない『を』の響きが毎号読者の心を打って、手を差し伸べずにはおかない、その人なりの実践へと奮い立たせてきたに違いありません。」

これまでの皆様方の祈りと献金、何十年にも及ぶボランティアの方々のお支えが、まさに『愛の手を』であって、最も弱い入所者の方々の命が守られてきたことと思います。

これまでの「愛の手を」が果たしてきた役割を引き継ぎ、入所者の方々の生き生きとした姿をこれからも伝えていきたいと願っています。

(H・N)

ひかり棟より



はい、チーズ



バスハイク
 5月下旬、利用者さん3名と皿山公園へバスハイクに行きました。久しぶりの外出ということもあり、出発前からニコニコと笑顔が見られます。
 昼食を食べ、いざ出発！職員や他の利用者さんに「行つてきます」と挨拶し、バスに乗り込みます。バスに揺られながら外の景色を見て、とても楽しそうな様子です。「楽しいですね」と声を掛けると「はい」と返事が返ってきました。公園に到着すると、目の前には大きな汽車が止まっています。バスから眺めていると、汽車を目の前に「きゅー」と興奮している方もいれば、見慣れない乗り物にとっても不思議そうに見ている方もいました。帰りは少しお疲れ気味の様子でしたが、どこかいつもとは違った笑顔が見られました。
 今回初めてバスハイクに参加し、利用者さんの楽しそうな姿を見ることができ嬉しかったです。一日でも早く感染が収まり、また外出できる日が来ますように…。
 (ひかり棟介護福祉士 池田七瀬)



リモート授業
 福岡特別支援学校に通学しているYさんも緊急事態宣言を受け、学校が休校となっていました。この春、小学部2年生から3年生に進級し、お友達と学校で会えるのを楽しみに待っていました。学校からDVDの教材が送られてきて、そのDVDを見て毎日過ごしていました。5月になりリモート授業ができるようになったこのことで、iPadを使って授業に臨むことができました。
 新しい担任の先生との初対面でしたが、名前を呼ばれると、満面の笑みで「はい」と返事をされていました。お友達の顔が映ると画面をじつと見て笑顔を見せていました。久々に会うお友達の顔を見てうれしかったようです。
 普段はあまり映像に興味がないYさんでしたが、DVD教材や学校の新しい取り組みで映像への興味も出てきたようです。元気に学校に通学できるまでは、新しい形での学生生活を楽しんでいきたいと思っています。
 (ひかり棟サービスマン古賀クミ)

気分はお買い物

世間では自粛、自粛、と言われ憂鬱な気分になりがちな今日この頃…。
 そんな中！5月の喫茶活動で、ひかり棟デイルームに「なんちゃってコンビニ」が出現！
 みんなが好きそうなお菓子やジュース：なんと！からあげくん、フライドポテトまでありのワクワクな喫茶活動でした。
 久山療育園店専用紙幣で、好きな商品を買って頂くシステム。買い物好き、からあげ好きなMさんはニコニコです。どれを買おうか迷いながら楽しそうな方や、何度も買いに来る方、レジ前で思わずつまみ食いしてしまった方など、みんな楽しく笑い合っているの喫茶活動となりました。
 お部屋の中でも楽しく過ごせるようにと、いつも素敵なイベントを考えてくれる保育士さんに感謝です。次回は何かな〜♪
 (ひかり棟療育員 宮本幸子)



た・の・し・い・なあ〜